

様式

会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度第1回川越市協働事業審査委員会
開 催 日 時	令和4年4月14日（木） 午後14時00分 開会 ・ 午後15時00分 閉会
開 催 場 所	川越市役所本庁舎 7A会議室
議 長（会長） 氏 名	遠藤克弥委員長
出席者（委員） 氏名（人数）	遠藤克弥委員長 櫻井晶夫副委員長 野本吉憲委員 藤井美登利委員 米原民子委員 柳内邦章委員（6名）
欠席者（委員） 氏名（人数）	真下英二委員 新井正司委員 栃原綾子委員 竹澤正人委員（4名）
事 務 局 職 員 職 氏 名	川越市市民部 部長 市ノ川千明 地域づくり推進課 課長 小熊政彦 副主幹 熊谷真一 主査 坂本有司 主任 森裕美
傍 聴 者 人 数	なし
会 議 次 第	1 開会 2 あいさつ 3 議事 （1）令和4年度会議等スケジュールについて （2）制度概要及び審査基準について （3）令和4年度協働事業公開プレゼンテーション等の説明 4 その他 5 閉会
配 布 資 料	別 紙・・・次第 資料1・・・令和4年度審査委員会スケジュール（案） 資料2・・・川越市協働事業審査委員会条例 資料3・・・川越市協働推進事業制度のポイント 資料4－1・・・川越市提案型協働事業補助金審査基準 資料4－2・・・川越市協働委託事業審査基準 資料5・・・提案型協働事業プレゼンテーションについて 資料6・・・協働委託事業ヒアリングについて 資料7・・・川越市協働事業審査委員会の傍聴に関する要領 参考・・・令和3年度協働事業

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	開 会 14時00分
委員長	1 開 会 事務局職員紹介
	2 委員長あいさつ 会議の成立 市協働事業審査委員会条例第5条第2項 会議の傍聴⇒可（傍聴者なし）原則公開
事務局	3 議事 (1) 令和4年度会議等スケジュールについて 資料1：令和4年度審査委員会スケジュールを説明 令和4年4月14日 スケジュール確認・プレゼンテーション実施方法について等 令和4年5月11日 プレゼンテーション・ヒアリング 令和4年5月26日 協働補事業採択審査 令和5年1月頃 オンラインシンポジウム 「(仮)市制100周年を迎えた今後の川越市について」 100周年事業参加団体を対象 令和5年1月下旬 令和5年度協働事業の取り組み、 事業報告会の実施方法について等 令和5年2月中旬 協働事業報告会 令和5年3月末 令和5年度継続事業早期審査
委員	1月下旬のオンラインシンポジウムは地域づくり推進課の協働委託事業として実施するのか。
事務局	→地域づくり推進課の協働委託事業の中で実施する。
委員	市制100周年記念事業の補助金事業に応募した団体で提

	<p>案型協働事業に応募している団体もある。100周年記念事業の団体についても承知しておいていただきたい。</p>
委員長	<p>来年は市制100周年記念事業参加団体から協働事業へ応募があるかもしれない。そのあたりも考えておいて欲しい。</p>
委員	<p>5月11日のプレゼンテーション・ヒアリングは例年ウエスタでやっていたが、市役所でスペースは足りるのか。</p>
事務局	<p>→コロナウイルス感染症対策のため一般公開はせず、動画撮影したものを後日市公式YouTubeチャンネルで公開する形で実施する。(傍聴は可)</p>
事務局	<p>(2) 制度概要及び審査基準について</p> <p>資料4-1：川越市提案型協働事業補助金審査基準、 資料4-2：川越市協働委託事業審査基準を説明</p>
委員長	<p>コロナ禍も3年目に入る。このままの状態ですっといくわけにはいかない。今年は(協働事業が)今後どう変わってやっていくべきなのかということも議論していった方がよい。</p>
委員	<p>埼玉県のみ市民活動は、基本的な対策をした上でリアルイベントも行われつつあり、徐々にコロナと共生していく方向に進んでいる。コロナ禍の2年を経験し、ゼロコロナは無理ということと、リアルでなければ出来ないことがあるとわかった。</p> <p>協働事業で認めたイベントで、もしコロナが出たとしても言い立てるのではなく、市民活動をリアルで回していこうという空気を醸成するのが協働事業だと思う。</p>
委員長	<p>最初はコロナのために事業を控えるという判断をしてきたが、今は扱い方が変わり、色々対応がわかれている。この審査委員会でも今年1年をかけてコロナへの対応を含め、意見を出し合って新たな体制づくりをするということではいかか。</p>

委員	<p>私の地域では今まで色々な事業をやってきたが、この2年は何もできていない。自治会長も1、2年で変わるところがほとんどで、事業の継続性がなくなり事業ができなくなる。</p> <p>中学の吹奏楽部員を集めていた事業も2年近く活動できず、それを体験した中学生がいなくなってしまった。継続性の点からも、少しずつでも活動を進めていく必要がある。</p>
委員	<p>以前コロナの関係で申請を取り下げた団体があった。市制100周年記念事業には38団体出ている。行政側としてwithコロナ、コロナ対策の条件のようなものはあるか。</p>
事務局	<p>→コロナ対策の条件のようなものは特にはない。</p>
委員	<p>→100周年事業でも対策について言われていることはないのか。</p>
委員	<p>→100周年事業の実行委員をやっているが、その会議の中でコロナについてはあまり話題に上がっていない。三密をさける等、個々の実施団体に気を付けてもらう形。</p>
委員長	<p>市民も子供も学生もみんなが協力していけば社会が疲弊せずにもっと活発化していくはず。個々の活動にあった対策や注意を設けていったらいい。</p>
委員	<p>(協働事業は)最初、資金が足りない団体が申請し、委員会で検討して補助金を出す形で優しかったが、今は審査が怖くて申請できないという団体もいる。審査を受ける側の身になって、気を付けて質問をした方が良く。地域で活動している団体はあるが、申請に至るまでが大変。そういう団体に出てきてもらえるように考えてもいいと思う。</p>
委員長	<p>いろいろ意見があったが、協働事業委員会では川越のすべての事業を考えるわけにはいかないので、協働事業に申請があったものに対して今年度はルールを作っていきたい。</p>

委員	<p>コロナの対策で決定的なものはない。かつては感染しないことが正義だったが今は重症化しない方がいいと変わってきている。何も知らなかった頃は感染が悪だったが、今は世の中が変わってきているし、活動しないといけない。協働事業では“やりたい”という意見が出るような雰囲気にしていかないといけないのと、コロナ対策については役所からの指示がないのであれば、我々は「どういう注意をもってやりますか」というくらいの聞き方で、団体のやろうとしている工夫をうまく引き出して、ぜひやってくださいというような意見に持っていくのがいいと思う。</p>
委員長	<p>規程を決めることはできないので自分たちでやり方を工夫しつつ意見を交換しながらよりよい方法見つけていければよい。</p>
事務局	<p>(3) 令和4年度協働事業公開プレゼンテーション等の説明 資料5：提案型協働事業プレゼンテーションについて</p>
委員 事務局	<p>現在、何団体申請があるか。 →補助が継続事業2団体を含めて8団体申請される予定。</p>
事務局	<p>資料6：協働委託事業ヒアリングについて 説明</p>
事務局	<p>4 その他 今年度の応募状況（4月13日時点） 提案型協働事業補助金 2団体の応募、4団体の相談を受付 協働委託事業 4事業 各1団体ずつ応募予定</p> <p>5月11日のスケジュールについて 午前に新規の提案型協働事業6件 午後に継続の提案型協働事業2件、協働委託事業4件の発表を予定。</p>

副委員長	<p>新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため一般公開はせず、傍聴者のみとし、録画撮影した動画を後日、市公式 YouTube チャンネルで公開する。</p> <p>5 閉 会</p> <p>副委員長あいさつ</p> <p>閉会 15時00分</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------